

# 武蔵野市学習者用コンピュータ通信

第 34 号

発行

武蔵野市教育委員会指導課  
令和5年12月

市ホームページにも、これまでのバックナンバーを含め掲載しております。

「学習者用コンピュータ通信」を検索していただくか、QRコードでアクセスしてください。



学習者用コンピュータ通信

検索



## 冬休みのご家庭での話合いに、ご活用ください

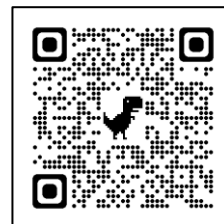
冬休みは家庭で過ごす時間が増え、学習者用コンピュータなど ICT 機器の使用時間も増えることが考えられます。日頃ご家庭で、「長時間画面を見続ける」「夜遅くまで使っている」「目と画面の距離が近い」「使用する際の姿勢が悪い」など、健康を害するような使い方になっていないでしょうか。冬休みの間に、ご家庭でお子様の ICT 機器の適切な使い方について話し合う機会を作ってください。

ご家庭での話し合いの際に、参考にできる情報サイトをご紹介します。子どもたちが自律的に ICT と関わる力を育成するために、ご家庭のご協力をお願いいたします。

### 東京 SNS ルール

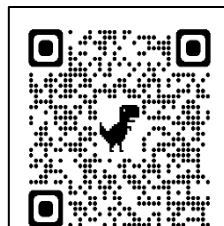
([https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/administration/pr/tokyo\\_no\\_kyoiku201601\\_js.html](https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/administration/pr/tokyo_no_kyoiku201601_js.html))

東京都教育委員会が策定した、児童・生徒が、SNS を通じたいじめ等のトラブルや犯罪に巻き込まれないようにするとともに、学習への悪影響を防ぐため、児童・生徒が SNS を利用する際のルールです。



### 【総務省】上手にネットと付き合おう！安心・安全なインターネット利用ガイド ([https://www.soumu.go.jp/use\\_the\\_internet\\_wisely/](https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/))

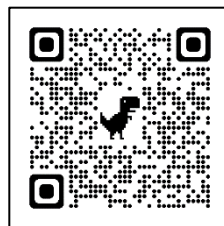
これまで総務省から発信された、インターネットに関する様々なトラブル事例や、それに対する防御方法、予防方法が掲載されています。教員、保護者、子ども等、対象者ごとに様々な情報がまとめられています。



### 【総務省】家庭で学ぶデジタル・シティズンシップ

([https://www.soumu.go.jp/use\\_the\\_internet\\_wisely/parent-teacher/digital\\_citizenship/](https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/parent-teacher/digital_citizenship/))

上でご紹介した「上手にネットと付き合おう！安心・安全なインターネット利用ガイド」内で紹介されています。4本の動画と実践ガイドブックが掲載されています。楽しみながらデジタル・シティズンシップを学ぶことができます。



## 生成A I の特徴について学習する授業が行われていました

市内の小学校の5年生の学級で、外部から講師を招き「生成A I」の特徴について学ぶ授業が行われました。生成A Iは「会話」「動画」「文章」「音楽」などの新しいコンテンツを作成することができます。学習者用コンピュータでは年齢制限などの理由で、子どもたちは使用することができませんが、代表的なものでは「Chat GPT」「Bing A I」などが挙げられます。

授業ではインターネット上の子どもたちが利用できる生成A Iを活用して行われました。子どもが実際に生成A Iを使うことで、A Iの得意、不得意の分野を知り、A Iを使う際に注意しなければいけないことについて考えることを目的に行われました。子どもたちはまず、講師の先生から生成A Iが得意なこと、注意点として以下の点について学びました。

### 【A Iが得意なこと】

- ① 文章の作成や添削
- ② データのシミュレーション
- ③ 画像やアートの生成

### 【A Iを使う際の注意点】

- ① 個人情報の入力危険性
- ② 生成A Iが作成したデータの信頼性
- ③ データ内容の人間による最終確認の重要性



【生成A Iを使う上で注意することについて考える様子】

続いて、画像生成A Iを使って子どもたちが画像の生成に取り組みました。子どもたちは、生成A Iに様々な条件を加えたり、指示の仕方を変えたりするなど、試行錯誤を重ねていました。最初は条件が少なかったり指示があいまいだったりしたため、子どもたちが思い描く画像を作ることができませんでした。次第に的確な指示が出せるようになり、画像のクオリティが高まっていました。



【A Iを使って画像を作成する様子】 【「花がいっぱいの建物」の条件で生成A Iによって作成された画像】

授業に参加した子どもからは、「いろいろな画像が作成できて楽しかった」「なんでそんなことになるの、という画像が出てきてしまっておかしかった」「画像が出るまでに時間がかかってしまった」といった感想が聞かれました。

生成A Iの機能は日進月歩で進化しています。学校でも適切な活用の方法を模索しています。